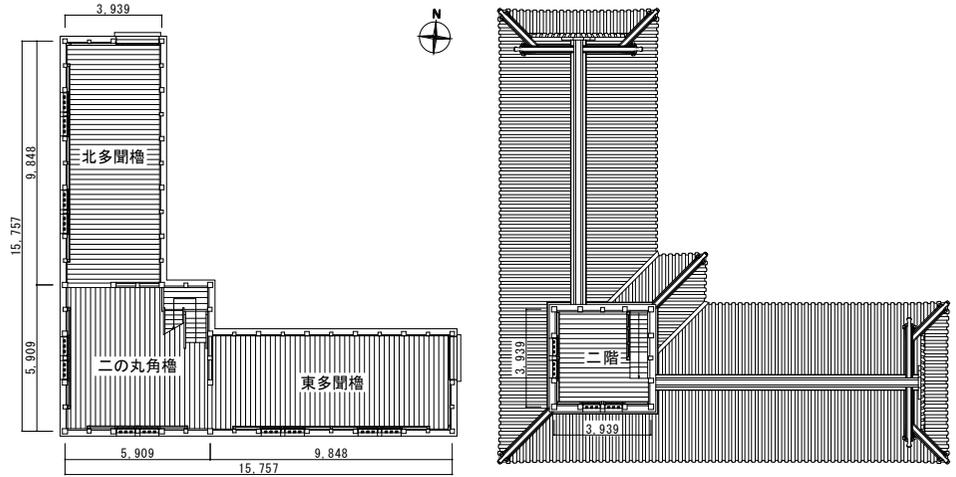
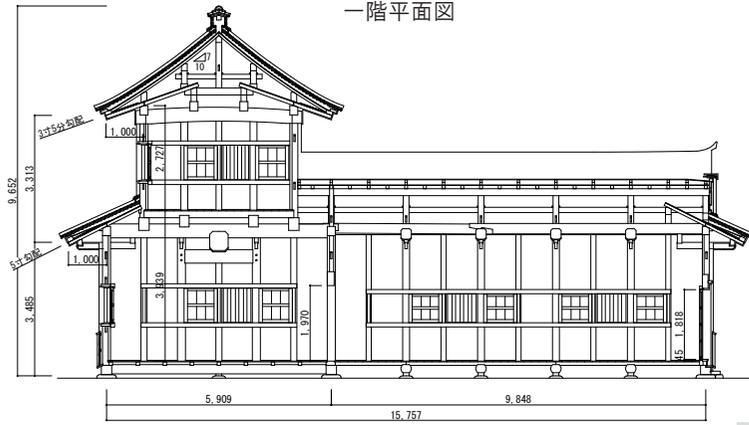


◆復元（整備）図



一階平面図

二階平面図



角櫓 梁間断面図

北多間櫓 桁行断面図

◆材種  
土台：檜  
柱：檜  
梁：檜

◆復元年代  
大手門に合わせ、天保年間(1830～1844)に存在していた建造物を復元するものと定め、安永焼失後に再建された櫓を目指します。

# 水戸城二の丸角櫓復元 及び土塀整備工事の概要

◆工事の目的

水戸市指定史跡水戸城跡及び茨城県指定史跡水戸城跡（壘及び濠）内において、史跡地の文化財保護（保存と活用）のため、明治以降に失われた二の丸角櫓及び土塀を復元・整備するものです。建物は、城内の景観を形成する重要な要素であるため、より城全体の価値を高めるよう、遺構や史資料を基に意匠や構造を往時の姿に復元することを主たる目的としています。

◆二の丸角櫓及び土塀の形状と規模

二の丸角櫓 折曲り一重櫓、隅部に一部二階、木造、入母屋造、本瓦葺（多間櫓）

土 塀 RC造、両下造、棧瓦葺、南面土塀、西面土塀、大手門北側土塀

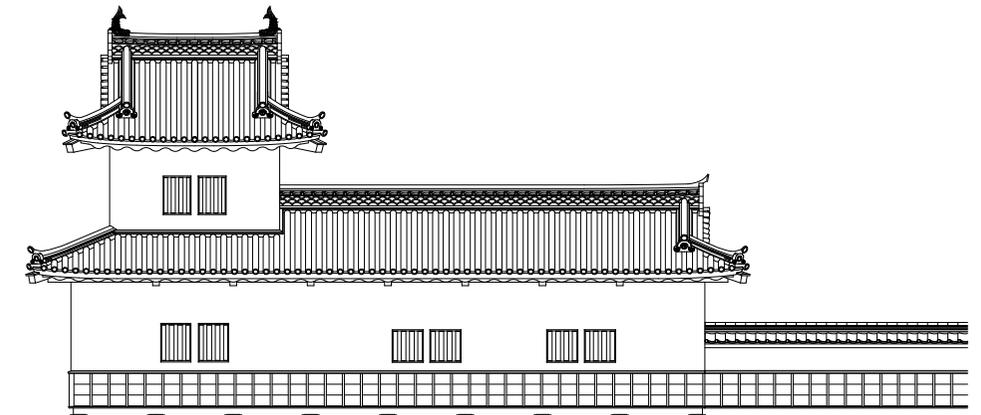
◆工事概要（二の丸角櫓・多間櫓とも）

基礎工事 遺構面を保護し、鉄筋コンクリート基礎を設置の上、花崗岩自然石礎石据付。

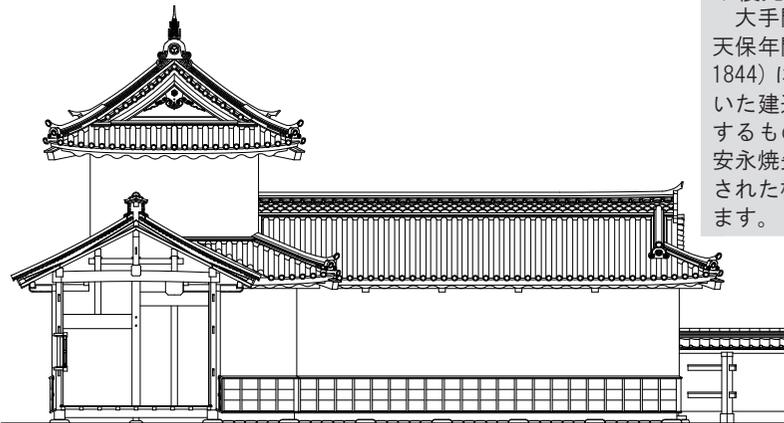
外部仕上 全面大壁、竹小舞下地、土塗、白漆喰仕上腰板下見板張。軒揚塗。

内部仕上 全面真壁、白漆喰仕上。

屋根工事 入母屋造、本瓦葺。大棟は箱棟（張瓦に漆喰塗）。端部は角櫓が鬼瓦・鯨瓦付、多間櫓は鬼瓦・鳥衾瓦付。



南立面図



東多間櫓

東立面図

制作：（公財）文化財建造物保存技術協会

## ◆工事前、基礎工事

工期 平成30年3月23日～令和2年9月7日



### 工事前の様子

整地後、建物を復元整備する縄張りを行ったところ。



### 基礎工事

基礎コンクリート打設後、花崗岩自然石の礎石、束石を据え付けたところ。

## ◆木工事



### 木材検査の様子

材料の寸法や数量が足りているか、割れや節など木の状態を一本ずつ確認している。



### 土台のひかり付け

土台下端を礎石の形状に合わせて加工しているところ。材種は櫟でとても硬い。



### 軸部の組立1

一階軸部の土台、柱、牛梁、桁などが組み上がったところ。



### 軸部の組立2

多聞櫓の軸部を組み、小屋束、母屋、棟木まで納めたところ。

## ◆屋根工事



### 窯出し

焼きあがった鯰瓦の姿。角檜大棟の両端に載る。高さは0.75mになる。



### 土居葺

上屋根の土居葺を施工しているところ。野地板の上に薄く割った杉板を葺き重ねる。

## ◆左官工事



### 縄巻竹の取り付け

軒揚塗の下地として、小舞竹に縄巻きしたものを取り付ける。



### 軒揚塗

荒壁付け、裏返し、垂木型の成形をしているところ。



### 軒揚塗

垂木型の成形後、乾燥しているところ。この後、中塗り、漆喰上塗りを行う。



### 壁小舞搔き

柱外面の切掛け刻みに間渡竹を掛け、間に横小舞竹、内側に縦小舞竹を割り付ける。